

## しんちゃんの森で歌おう

9月21日(水)、「みどりの保育園」第7回「しんちゃんの森で歌おう会」を実施しました。

当日は、夏の猛暑もようやく治まったかと思いきや台風15号の接近で、あいにくの雨模様の天気となりました。残念でしたが、急きょ「しんちゃんの森」から保育園遊戯室に場所を変更となりました。

今回の「しんちゃんの森で歌おう会」は、年長組園児24名、年中組園児29名、保育園先生6名、庄内総合支庁2名、ふれあいセンター3名の総勢64名の参加者です。

歌の指導者には、酒田市の日和山楽団でギター・ハーモニカを担当している梅津勤一氏をお迎えしました。

本日歌う曲は、「大きな歌」、「クロマツの歌」、「庄内米の歌」の三曲です。最初に発声練習を兼ねて「大きな歌」を参加者全員で歌いました。保育園の先生や園児の皆さんは、日々、歌いながらいるせいか、伸びやかな高い声が遊戯室としんちゃんの森に響きわたりました。

次に、「クロマツの歌」、「庄内米の歌」を歌います。「クロマツの歌」は、日和山楽団でボーカルを担当している村上隆氏が秋田に単身赴任していた際、毎週車から見る庄内海岸のクロマツ林を題材に作った曲で、庄内のクロマツ林保全活動のテーマソングとなっている歌です。年長組の園児達は、昨年度も歌っており、また、この会のために日々練習を重ねてきたようで、最後までギターとハーモニカの演奏に合わせて、透き通った高い声で歌いきりました。年中組の園児達は、初めてのこともあり、最初は、声も控えめでしたが、次第に調子が上がってきて、大きな声で歌えるようになりました。ひらがなも読めない園児が多いのにこのように歌えるようになるのは、子供たちの感性と自然豊かな環境(クロマツ林)があるように感じました。

「庄内米の歌」を熱唱中には、保育園の先輩でもある西荒瀬小学校の1年生10名がサプライズゲストとして来てくれました。年長・年中園児の皆さんは、先輩たちの前で大きな声で歌をプレゼントし、大きな拍手を受けていました。

最後に、熱心に園児達に歌の指導をし、ギター・ハーモニカ演奏の三役を見事に一人でこなした梅津勤一氏に、西荒瀬保育園を代表して年長組のさいとうのはちゃんより花束の贈呈がありました。

そして、園児全員で梅津氏をとり囲むようにして記念撮影を行い、「しんちゃんの森で歌おう会」を終了しました。

